

2018年度事業計画

自：2018年1月1日 至：2018年12月31日

特定非営利活動法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク

1. 活動方針

2018年度のSPANは、視覚障害者の就労支援と、スマートフォン・タブレット端末の普及活動をさらに発展させていきます。

それは、上記がSPANの強みであり、それを生かすことで、より社会に貢献でき、SPANが目指す「一人でも多くの視覚障害者にICTを活用してもらおう」という理念にかなっているからです。

具体的には、以下のような活動を展開していきます。

(1) 視覚障害者就労促進事業(札幌)

- ・ 職業講習2回を実施
- ・ 賛同者からの寄付金(46万円)で実施

(2) 視覚障害者就労促進事業(神戸)

- ・ 就労促進フォーラム、支援者セミナー、指導者勉強会を実施
- ・ ユニハートからの寄付金が受けられた場合に実施

(3) 視覚障害者向けiPhone・iPadの操作マニュアル作成、講習会開催

- ・ 札幌市、鹿児島市での講習会開催
- ・ 上記講習会で使用するテキストの制作
- ・ 日本たばこ産業からの助成金が受けられた場合に実施

そのほかの講座は、土曜講座やワンポイント講座なども2017年以上に積極的に実施していきます。内容は、Windows 10やOffice 2016などの最新技術のほか、受講者のニーズが高いテーマも取り上げていきます。

また、リコーFreeWillからの助成金を活用して、画面のレイアウトを言葉で説明するマニュアルの制作も行うほか、日本盲人福祉委員会からの助成金を活用して、視覚障害者の資格取得に関するアンケート調査を行い、それをまとめてセミナーなどで発表します。

もちろん、これまで続けてきた在職者訓練や講座の実施、職業スキルアップセミナーの開

催、テキスト制作、またメールマガジンや Web サイトなどによる情報提供といった活動は SPAN のベースとなるものですので、これからも大切にしていきたいと考えています。

会員向けの活動としては、SPAN サロンの内容が必ずしも会員のみなさんのニーズに沿っていない面もあるので、会員のみなさんの声を聴きながらニーズに沿った内容にしていくほか、タブレットサロンも継続していきたいと考えています。

親睦活動は、忘年会は多くの方に参加していただいたので、2018 年度にも実施する計画です。

一方で、赤字が続いている収支の改善にも本腰を入れて取り組まなければと考えています。具体的には以下のような対策を講じていきます。

- (1) サービスグラントの支援を受けながらクラウドファンディングなどの資金獲得方法の検討
- (2) より広い方々への寄付の呼びかけ
- (3) 経費の節減

このように、2018 年度も厳しい中にも充実した活動ができればと考えていますが、そのためには会員のみなさんのお力が不可欠です。

ぜひ、一緒に前に進んでいきましょう。

2. 活動計画

2018 年度には以下の活動を計画しています。

(別紙「2018 年度活動計画」参照)

以上